

ほんのもり 9月



No 5 .2022.9.
日の出中学校図書館
学校司書 中井孝子

～日の出中図書館だより～

9月に入り、まだまだ暑い日が続いていますが、夜には秋の虫の音も聞こえるようになりました。季節は確実に秋に変わりつつあります。さて、みなさんは、夏休みをどのように過ごしましたか？

図書館では蔵書点検も終え、新刊も入荷して、みなさんの来館を待っています。2学期もよろしくお祈いします。

夏休み貸し出しの本の返却を
よろしくお祈いします！



よく読もう、たくさん読もう。



☆ 1学期によく読まれた本です ☆

【読み物シリーズ】

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1、 5分後に意外な結末 | 桃戸ハル |
| 2、 5分後に恋の結末 | 橘つばさ |
| 3、 ふしぎ駄菓子屋銭天堂 | 広嶋玲子 |
| 4、 ソードアート・オンライン | 川原礫 |
| 5、 カゲロウデイズ | じん(自然の敵P) |

【小説】

- | | |
|-----------------------|------|
| 1、 サクラ咲く | 辻村深月 |
| 2、 夜が明けたら、いちばんに君に会いにい | 汐見夏衛 |
| 3、 探偵が早すぎる | 井上真偽 |
| 4、 三千円の使いかた | 原田ひ香 |
| 5、 コード・ブルー | 林宏司 |

【その他】

- | | |
|----------------------|-------|
| 1、 世界の爬虫類ビジュアル図鑑 | 海老沼剛 |
| 2、 爬虫類・両生類の飼育環境のつくり方 | 川添宣広 |
| 3、 わけあって絶滅しました。 | 丸山貴史 |
| 4、 世界の絶滅危惧生物図鑑 | IUCN |
| 5、 韓国語単語イラスト BOOK | 山崎亜希子 |

☆おすすめの本です☆

<p>『そして、バトンは渡された』瀬尾まいこ 幼いころに母を亡くし、海外赴任をきっかけに父とも別れ継母と暮らす選択をした小学生の優子。その後大人都合で家族が変わり、高校生になった今、一緒に暮らす継父、森宮さんは慣れないながらも懸命にごはんをつくり、気遣い、父親であろうとする。これまで育ててくれた血のつながりのない家族からたくさんの愛情をもらった優子。温かい気持ちにつつまれる。2019年本屋大賞受賞作。</p>	<p>『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』汐見夏衛 中学2年の百合は親や学校でうまくいっていない。ある日、母とけんかして家を飛び出し、目を覚ますと、そこは70年前の戦時中の日本だった…百合は教科書でしか知らない時代、それも戦争時代末期を体験する。そして心をひかれていく彰は特攻隊員だった。戦争時代がぐっと身近に感じられ、ラストは胸がつかまる。</p>
<p>『凍りのくじら』辻村深月 藤子・F・不二雄を「先生」と呼び、その作品を愛する父が失踪して5年。高校生の理帆子は「写真を撮らせてほしい」という一人の青年に出会う…作者のドラえもん愛に詰まった作品。ラスト、すべてが明らかになると、最初から読み返さずにはいられなくなった。そして深い感動が後に残った。</p>	<p>『神去なあなあ日常』三浦しをん 高校卒業と同時に三重県の山村に放りこまれた平野元気19歳は…林業の現場での1年間を描く。各所にちりばめられたユーモア、そして林業の仕事のリアルさと奥深い魅力。これぞ林業界のエンターテインメントだ。</p>
<p>『そして誰もいなくなった』アガサ・クリスティー 孤島に招かれた10人の男女。彼らは互いに面識もなく、職業や年齢もさまざまだった。しかし、招待した主の姿はなく、彼らは一人ずつ殺されていく…犯人はだれなのか？次はだれが殺されてしまうのか？時代を超え読み継がれる、スリルとサスペンスにみちた不朽の名作。</p>	<p>『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレンディみかこ アイルランド人の父と日本人の母を持つぼくが過ごす英国ブライトンでの中学校生活の一年半。人種差別や格差社会を目の当たりにして11歳のぼくとかあちゃんはともに悩んで毎日を乗り越えていく…とにかく手に取ってほしい。知ってほしい。</p>

☆新刊が入荷しました☆

<p>『東大教授がおしえるやばい日本史』本郷和人 「なぞの自信で出世して日本一の権力をにぎる—藤原道長」 「ラブレターを見せびらかしてモテ自慢—土方歳三」ほか、歴史人物の新たな一面がコミカルなイラストとともに。</p>	<p>『ヒロシマ消えたかぞく』ポプラ社 「…これは太平洋戦争末期昭和20年8月6日広島に原子爆弾が落とされるまで確かに生きていた家族の記録です。」77年前といわれるととても昔に思われるが、原子爆弾が落とされる前まで戦時中の家族の生活があった。それを思うと胸を締め付けられる。</p>
<p>『ぼくは川のように話す』ジョーダン・スコット 吃音があり、うまく言えない音があるぼく。そんなぼくをお父さんが川に連れて行ってくれた。川は「あわだって、うずをまいて、なみをうち、くだけていた」そしてお父さんが言った…美しい絵とともに文章が心にせまってくる。</p>	<p>『しくじりから学ぶ 13歳からのスマホルール』島袋コウ スマートフォンやインターネットはきちんとマナーを守って使えば、便利なアイテムである。自分や誰かを傷つけないようルールやマナー、仕組がよくわかる。スマートフォンを持つみんなに読んでほしい。</p>
<p>『にゃんこ四字熟語辞典』西川清史 猫の写真が四字熟語を雄弁に語る。言葉にぴったりの写真のおかげで四字熟語がつぎつぎに楽しく頭に入ってくること間違えニヤーし！！</p>	<p>『大人になるってどういうこと？みんなで考えよう 18歳成人』神内聡 「大人」と「子ども」の線引きとは？2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられました。18歳といえば、高校生であり、大人を実感する機会は少ないかもしれませんが、だからこそ知っておく必要があります。</p>